

第24回南房総市 TOMIURA さざ波大会戦評（女子決勝）

$$\begin{array}{l} \text{青葉小} \quad 45 \\ \text{(東京都)} \end{array} \left\{ \begin{array}{l} 12-23 \\ \\ 33-25 \end{array} \right\} 48 \begin{array}{l} \text{八木北} \\ \text{(千葉県)} \end{array}$$

第1Q

八木北はマンツーマンディフェンス、青葉はゾーンディフェンスで互いにオールコートで激しいディフェンスからの立ち上がりとなった。青葉は5番河邑、7番高橋のドライブを中心に攻める。一方、八木北は落ち着いてパスを回し、7番北越を中心に点を重ねていった。

第2Q

八木北のディフェンスは、青葉の4番石田、6番早川、9番佐々木に対するマンツーマンディフェンスで、残り2人がゴール下を守る、変則的なディフェンスで青葉の攻撃を苦しめるが、青葉も粘って2Qはイーブン。1Qのリードが響き、前半を23-23の10点差として折り返す。

第3Q

第3Qからベストメンバー同士の戦いとなり、青葉は5番河邑、6番早川、7番高橋の1対1を中心に点を重ねる。一方、八木北は前半同様にパスを良く回し加点するも、予想以上に青葉の1対1が強く、1ゴール詰められ3Qを終了し最終Qを迎える。

第4Q

青葉は8点のビハインドを取り返すべく、オールコートプレスを仕掛けるが、八木北が落ち着いてかわし加点。しかし相変わらずの青葉の強烈な1対1からのシュートが決まり、激しく追い上げた。残り5秒、青葉が1点差まで迫るが、最後は八木北の6番高橋が落ち着いてフリースローを2本決め、八木北が逃げ切った。

八木北の全員バスケが優勝に繋がった試合だった。

文責 宮野雅之（千葉県）

第24回南房総市 TOMIURA さざ波大会戦評（3位決定戦）

$$\begin{array}{ccc} \text{大原} & 38 & \left\{ \begin{array}{l} 20-19 \\ 18-7 \end{array} \right\} 26 & \text{玉村} \\ \text{(千葉県)} & & & \text{(群馬県)} \end{array}$$

第1Q

白（大原）4番のパスから8番の合わせが決まり、先制点を取る。対する青（玉村）も4番のドライブやリバウンドシュートで応戦する。青4番を中心とした攻撃がよく決まり、12-8 青の4点リードで1Q終了する。

第2Q

青の2-2-1 ゾーンプレスが効果的にきき始める。白も5番のリバウンドシュートで決め返し、一進一退の攻防となる。5番のゴール下シュートが連続で決まり大原が逆転。20-19 白の1点リードで前半を終了する。

第3Q

青のドライブインが成功し、白はファウルを重ねてしまう。白はディフェンスを頑張りだし、速攻でチャンスを作る。お互いにシュートを決めきれず、ロースコアな展開になる。終了間際、白5番が速攻を落ち着いて決め、26-24 白の2点リードで4Qを迎える。

第4Q

白の5番のリバウンドシュートやブロックショットの活躍で、一気にリードを8点に広げる。対する青も4番のドライブで粘りを見せる。最後は白の落ち着いたゲーム運びでリードを守り、38-26で試合終了となった。

高さと速さを生かした大原の勝利となった。玉村の最後まであきらめないスピードあるプレーも光り、3位決定戦らしい好ゲームとなった。

文責 新田 圭